

書くこと

文字と文字、語と語の間隔を適切に取って書けない

全 … 学級全体に対する指導や支援

個 … 個人に対する指導や支援

語のかたまりが分からない場合

①語に分けて提示し、書き写させる。全

書く活動で表現を提示する際に、1語ずつカードやミニ黒板などに分けて書く。スペースを空けてカードやミニ黒板を示すことで、語を1つのまとまりとして意識したり、語と語の間にスペースを取って書いたりできるようにする。

②書き写す際に、語と語の間に指を置かせる。全・個

語を1つのまとまりとして意識できても、読みやすい間隔が分からないと、語と語の間がくっついたり、離れすぎたりする。「語と語の間は指1つ分空ける」などのルールを決めると間隔を取りやすくなる。

③書き写す語だけが見えるようにする。個

書き写す語だけに意識を向けさせるため、残りの語は紙や定規で覆い隠すようにする。1つの語を書き写したら間隔を取り、紙や定規を動かして次の語を見て書き写すというように、書き写す際の手順を示して語と語の間隔を取って書けるようにする。

語のかたまりではなく1文字ずつ書き写している場合

①ピクチャーカードやピクチャーディクショナリーなどを手本として活用する。全・個

黒板に例文を示すだけでなく、児童が書き写す際に手元で見られる手本を用意する。教科書やピクチャーカード、ピクチャーディクショナリー、児童用英語辞典、タブレット端末などが、手本として活用できる。

②スペースを空ける場所が分かるように提示する。全・個

語をかたまりとして意識させるために、黒板に例文を示す際に語と語の間にマグネットを置いたり、手元で見る手本に語と語の間の空白を点線で囲んだりする。スペースを空ける場所が分かるように目印を決めておくが良い。

③なぞり書きをさせる。個

書き写すことに慣れるまではなぞり書きにする。教員がワークシートに書く場合は、児童がなぞりやすいように蛍光ペンなどで書くと良い。